

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

防災グッズは何をそろえる？

皆さんは、万が一の災害のために防災グッズを用意していますか？ 義務ではありませんが、阪神大震災や新潟中越地震においても、準備さえしていればといった声が多数ありました。

そこで今回は、この防災グッズについてお話しします。厳密に言えば「防災グッズ」というものは存在しません。災害はグッズ（物）をそろえる程度では防げないものだからです。

水と食料3日分の用意は、優先順位は最後の方です。その理由は、これまでの国内の記録ある自然災害において、水や食料不足が理由で亡くなった人はいないからです。

防災用品は、次のような順で用意します。

- ① 生命の危機に陥るリスクを軽減するもの
 - 医薬品・・・常備薬、包帯、ガーゼ、脱脂綿、ばんそうこう、はさみ、消毒薬、整腸剤、持病のある人はその病気のための薬（薬剤名や服用方法についてのメモも）
- ② 自宅が危機になったときに避難を手助けするもの
 - 停電時用・・・懐中電灯、ろうそく、マッチ、携帯ラジオ、予備の電池など
 - 緊急時の避難・救助用・・・笛、ナイフ、ロープ、懐中電灯、シャベル、ノコギリ、ハンマーなど
- ③ 避難生活が長期にわたる場合に健康をなるべく維持するために必要なもの



■ 衣類・・・重ね着の出来る衣類、防寒具、下着類、靴下、雨具、カイロなど

■ 避難所への持込用グッズ・・・着替え、毛布、布団、タオル、ビニール袋、生理用品、筆記具、食器類など

④ 避難生活をより快適に過ごせるようにするもの

■ 飲料水・・・1人1日3リットルが目安（飲用のみで3日から4日分）

■ 非常食・・・保存期間が長く、火を通さなくても食べられる食品。保存可能期間2年から5年のものが理想的。

他にも、貴重品（現金、身分証明書、預貯金通帳、印鑑、健康保険証など）、長期避難用アウトドアグッズ、日用品（布粘着テープ、ラップ、梱包用紐、風呂敷、ダンボールなど）があります。

市販の非常用持ち出し袋に自分の必要なものを入れ、オリジナルの非常用持ち出し袋を作り、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう。目安は成人男性で15kg、成人女性で10kgです。欲張りすぎると行動に支障が出るので要注意！

また、自宅が地震のリスクに弱い古い木造家屋か、鉄筋コンクリートか、3階程度の低層住宅か中高層住宅かによっても用意する物の種類や分量が異なります。

まずは安全な家に住み、安全な寝室で寝ることこそ本当の災害対策になるのです。

秋季全国
火災予防運動

消したかな あなたを守る 合言葉

平成22年度全国統一標語

11月9日（火）から11月15日（月）までの7日間、全国一斉に秋季火災予防運動が実施されます。

これは、火災が発生しやすい時季に、予防の意識をさらに高め、発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的としています。

皆さんもこれを機に、火災に対する認識を深め、

火災を未然に防ぐことができるよう正しい知識を身につけましょう。また、平成23年5月31日までに住宅用火災警報器を設置することが全世帯に義務付けられています。まだ設置していない人はお早めにお願ひします。

住宅用火災警報器について詳しくは松前消防署（☎984-3404）までご連絡ください。